

講師紹介

すずききぬえ
鈴木絹英氏



(NPO 法人ホールファミリーケア協会理事長)

高齢者電話相談をきっかけに、米国より「シニア・ピア・カウンセリング」を日本で初めて導入。その理念を原点としながら、「傾聴ボランティア」として日本型の社会運動を展開。

「聴く」ことで話し手の心を癒し、豊かな人間関係を築くこの活動は、能力開発・育成の面からも注目されている。

著書：「聴くことでできる社会貢献 新・傾聴ボランティアのすすめ」三省堂

「傾聴～『聴き方』しだいで人間関係が決まる」NPO 法人ホールファミリーケア協会発行



傾聴とは

①聞くはただ漫然と「耳にする」、「聞こえてくる」

聴くは一所懸命注意深く耳を傾けて聴く

話の聞き方の上手、下手によってお互いの人間関係が大きく変化する。

②相手の伝えたい事を聴く

こちらの聞きたいことではなく、相手の言いたい事、伝えたいと願っていることを、自分の五感を使って、深い思いやりと温かい心で真剣に聞き取る姿勢、相手と特別な意味合いを持たせたコミュニケーションの方法であり、このような聴き方を傾聴という



手をつなぐ・さくら ってどんなグループ？

2006年10月に発足し、現在は50名の会員で構成されています。

私たちの主な活動は、いろいろな人と出会う場所づくりを考えて、「わたしのたまり場」を月2回（第1日曜日・第3水曜日）ユーカリが丘のギャラリー リーベで開催しています。

障がいのある人もない人も地域で安心して共に暮らせる社会の実現に向けて活動しています。

申し込み日： 月 日

手をつなぐ・さくら 吉田宛

申し込み FAX 489-6613

傾聴講座申し込み書

氏名	連絡先	所属

〆切：5月31日（木）